

経済・金融  
フラッシュ宿泊旅行統計調査 2024年6月  
～国内旅行は弱い動きだが、インバウンド需要は好調～

経済研究部 研究員 安田 拓斗

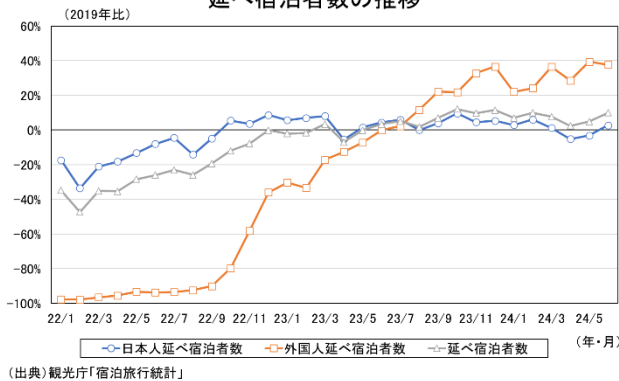
TEL:03-3512-1838 E-mail: t-yasuda@nli-research.co.jp

## 1. 延べ宿泊者数は2019年比二桁の高い伸び

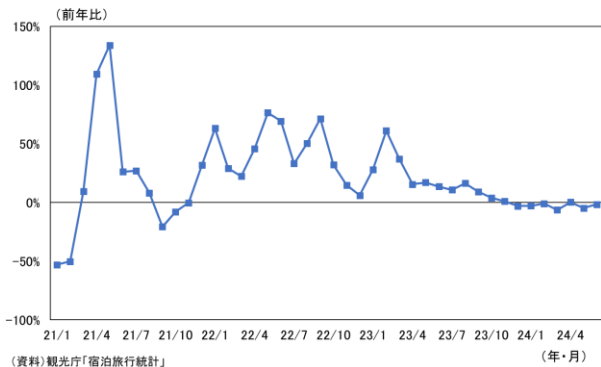
観光庁が7月31日に発表した宿泊旅行統計調査によると、2024年6月の延べ宿泊者数は5,039万人泊（5月：5,390万人泊）、前年同月比6.3%（5月：同5.0%）、2019年比10.0%（5月：同4.9%）となった。6ヵ月ぶりに2019年比二桁の高い伸びとなった。

2024年6月の日本人延べ宿泊者数は3,720万人泊（5月：4,034万人泊）となり、2019年同月比は2.3%（5月：同▲3.2%）と3ヵ月ぶりにコロナ禍前の水準を上回ったが、前年比は▲1.6%（5月：▲4.7%）と2ヵ月連続のマイナスとなった。日本人延べ宿泊者数は物価高の悪影響を受けて停滞している。2024年6月の外国人延べ宿泊者数は1,319万人泊（5月：1,356万人泊）、2019年同月比は37.6%（5月：同39.4%）となった。日本人延べ宿泊者数が停滞する一方、外国人延べ宿泊者数が2019年比二桁の高い伸びを続けていることで、延べ宿泊者数は高水準で推移している。

延べ宿泊者数の推移

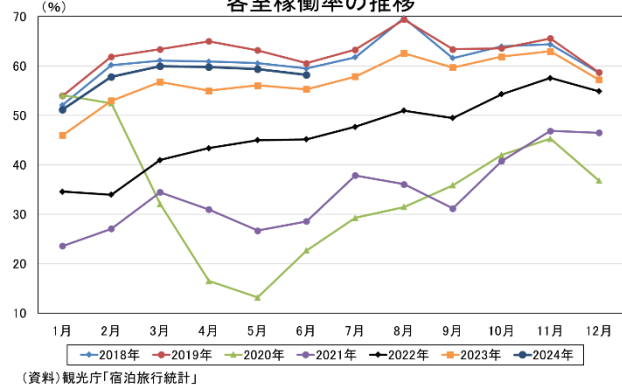


日本人延べ宿泊者数の推移



2024年6月の客室稼働率は全体で58.2%（5月：同59.4%）、2019年同月差▲2.4%（5月：同▲3.8%）と、コロナ禍前の水準を下回っているが、前年同月差は2.9%（5月：同3.3%）とプラスで推移している。宿泊施設タイプ別客室稼働率をみると、旅館は33.1%、2019年同月差▲3.6%（5月：同▲5.9%）、リゾートホテルは52.6%、2019年同月差▲2.8%（5月：同▲7.5%）、ビジネスホテルは71.9%、2019年同月差▲2.4%（5月：同▲3.1%）、シティホテルは72.3%、2019年同月差▲7.6%（5月：同▲8.1%）、簡易宿所は24.5%、2019年同月差▲4.7%（5月：同▲4.1%）であった。2019年同月差は全てのタイプの宿泊

客室稼働率の推移



施設でマイナス圏での推移が続いている。一方、前年同月差をみると、旅館が▲0.8%とマイナスになっているが、リゾートホテルは同 3.5%、ビジネスホテルは同 3.8%、シティホテルは同 4.5%、簡易宿所は同 1.8%といずれもプラスで推移している。

## 2. 日本人の旅行需要は停滞を見込む

都道府県別の延べ宿泊者数の実績は速報より 1 ヶ月遅れて公表される。能登半島地震の震源地である石川県では、5 月の延べ宿泊者数が 2019 年比 19.4%<sup>1</sup>（前年比 39.5%）と増加し、客室稼働率も 2019 年差 3.1%とプラスで推移している。ただし宿泊者の中に震災の二次避難者<sup>2</sup>が含まれている可能性がある。

なお、被害が大きかった富山県、福井県、新潟県、石川県を対象として北陸応援割<sup>3</sup>が実施され、新潟県は 7/18 まで、石川県は 7/31 まで継続される予定である。しかし、石川県を除いた 3 県では延べ宿泊者数は 2019 年を下回って推移しており、北陸応援割による旅行需要喚起が日本全体を押し上げている様子は見ることができない。物価高による実質所得の低下やホテル代の高騰などによって日本人の旅行需要は停滞しており、先行きも横ばい圏内で推移する公算が大きい。

北陸応援割の概要

	富山県	福井県	新潟県	石川県
利用期間	終了		7/18まで	7/31まで
割引	50%			
割引 上限	1泊	2万円		
	2泊	3万円		
	2県以上	3.5万円		

(注) ビジネス利用は対象外

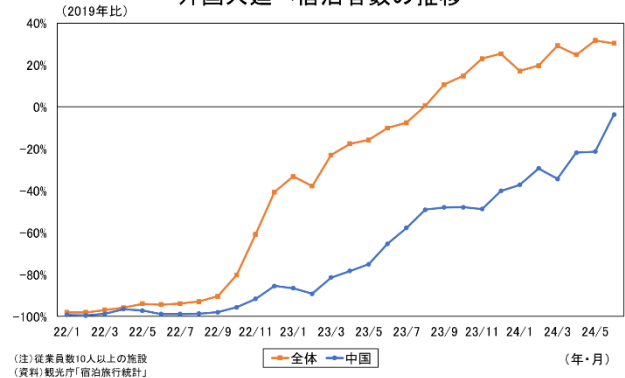
(資料) 各県HPより筆者作成

## 3. 中国人宿泊者数が急回復

外国人宿泊者数のうち、国別が分かる従業者数 10 人以上の施設で見ると、2024 年 6 月の中国人延べ宿泊者数は 2019 年比▲3.6%（5 月：同▲21.4%）と、コロナ禍前の水準を下回っているものの、マイナス幅が大幅に縮小した。

中国国内の消費は弱い動きになっていることから、中国人延べ宿泊者数が停滞するリスクはあるが、コロナ禍前に比べて為替レートが円安の水準にあることが追い風となって、外国人延べ宿泊者数は増加を続けることが予想される。日本人の旅行需要は停滞が続くことが見込まれるため、今後の日本全体の旅行需要を左右するのはインバウンド需要となるだろう。

外国人延べ宿泊者数の推移



<sup>1</sup> 2024 年 1-5 月調査においては、令和 6 年能登半島地震の影響により、石川県七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水及び能登町を調査対象から除いているが、影響は軽微と考えられる

<sup>2</sup> 石川県によると 7 月 30 日 14 時時点で、二次避難者数は 705 人（累計 11,700 人）となっている。二次避難者は金沢市以南・県外のホテルや旅館に移送された。

<sup>3</sup> 旅行代金の最大 50%が割引。上限額は宿泊数や宿泊県数によって上限金額が変わる